

日インドネシア物流政策対話 議事概要

〈両国の物流施策について〉

- 日本から、現行の総合物流施策大綱の概要を紹介するとともに、物流を取り巻く環境変化や対策等、次期総合物流施策大綱の策定に向けた提言の内容を説明した。また、新型コロナウイルスの物流への影響と対応等を紹介した。
- インドネシアから、新型コロナウイルスの物流への影響と必需品の優先的な輸送、旅客便による貨物輸送、事業者への補助等の政策対応、食品を含む EC 需要の増加による物流関係事業機会の拡大等についての説明があった。

〈インドネシアにおける物流課題について〉

(1) ジャカルタ広域圏における交通渋滞について

- 日本から、ジャカルタ広域圏における交通渋滞の状況を説明し、改善に向けた計画を問うとともに、原因の一つとして突発的な交通規制が考えられることを挙げ、交通規制が行われる場合の早期の通知について要請した。
- インドネシアから、交通渋滞対策として、ジャカルタ広域圏を含むジャワ島における鉄道輸送を強化し、モーダルシフトを推進するための調査を実施しているとの回答があった。また、早期の交通規制の通知については、最近の交通規制は2週間前には通知されており、ジャカルタ広域圏における交通規制は引き続き可能な限り早期に発出したいとの回答があった。

(2) 外資・兼業規制について

- 日本から、物流関係業種に係る外資・兼業規制の現状について説明し、外資規制の地域差、緩和に向けた計画、日本の支援への要請について質問した。
- インドネシアから、外資規制は国として定めており、地域差はなく、仮に州等の地方政府が別の規制を設けていたとしても、国の規制が優先して適用される旨回答があった。また、規制の緩和に向けた計画については、投資に関する包括的な政策評価を行っている段階であり、評価の内容次第で日本を含む外国からの投資がより効果的に行われるための政策がとられる可能性もある旨の説明があった。さらに、インドネシアの交通分野の発展に関する日本の支援への期待が表明された。

〈グリーン物流について〉

- 日本から、インドネシアが開催を予定している「グリーン物流パートナーシップ会議」について、令和2年12月に日本が開催した同会議の結果について情報提供を行った。
- インドネシアから、温室効果ガスの削減に向けた計画、交通分野における取組の方向性、モードごとの行動計画等について説明があった。

〈コールドチェーン物流について〉

- 日本から、日 ASEAN 交通連携の枠組みにおけるコールドチェーン物流プロジェクトに関する取組及びインドネシアにおける規格策定に向けた日本の支援を紹介した。
- インドネシアから、同国のコールドチェーン物流に関する取組の現状、人材育成やインフラに関する課題、日本との協力の方向性等について説明があった。